

チェック
check

最近のニュース等からマンション管理に関する情報をご紹介します

マンション管理 最近の動向

マンション管理士 飯田太郎

今後の都市部における コミュニティのあり方を検討 総務省が研究会を開催

総務省は、都市のコミュニティが十分に機能を発揮できなくなっている要因と、解決策を検討するために「今後の都市部におけるコミュニティのあり方に関する研究会」（座長：河合克義明治学院大学教授）を設置しました。

研究会はコミュニティが機能しない代表的な要因として①都市では若い世代を中心に流入・流出が激しく、安定的な人間関係が構築しにくい ②商店街や地場産業の衰退により、地域に暮らす人々

が顔を合わせる機会が減少している ③ニュータウンや団地の住民の高齢化と、転入者が少なく世代の新陳代謝が進まない等をあげ、以下のような視点で検討することになっています。

①戸建に居住する場合と、高層かつ大規模な集合住宅に居住する場合の近隣との関わり方の違い
②自治会、町内会などが抱えている課題 ③居住スタイルや人付き合いの価値観が多様化する中でコミュニティ活動のあり方 ④単身者、共働きなど地域との繋がりが薄い住民が、地域の活動に関わる仕組み等です。

マンション改修の 「技術資料」と「技術シート」

国土交通省マンション政策室が勉強会の成果を公表

国土交通省マンション政策室は、マンション等の共同住宅ストックの戦略的維持管理を検討するために開催した「持続可能社会における既存共同住宅ストックの再生に向けた勉強会」（座長：村上周三東京大学名誉教授）の研究成果を「技術資料」と「技術シート」にまとめ、ホームページで公表しました。

対象とした技術の内容は、①耐久性・耐用性 ②環境・省エネルギー性能 ③耐震性 ④防災性 ⑤高齢者対応の5分野です。掲載された技術や工法の多くは既に実施されている標準的なものですが、各種の情報をひとつにまとめカタログのよ

うに編集し、改修によるグレードアップを検討するときの、基礎的な資料として管理組合やコンサルタント等が利用できるように工夫されています。例えば、防災性について、大地震発生時にマンションに留まり生活することを想定、3段階の生活レベルごとに電気や水を確保する方法を示すなど新しい発想が盛り込まれています。



飯田太郎（いいだ・たろう）
マンション管理士
(株)TALO 都市企画代表

老朽化マンションの再生や地域コミュニティ等についてコンサルティングを行っているマンション管理に関する講演、著書多数